



# 「若どり」

第8号

◎ からだをつくる ◎ 心をみがく ◎ わざを練る

## 挨拶とは残心

校長 江原 賢一

師走。早いもので今年も残すところあとわずかとなりました。各地で開かれていた「酒の市」も終わりをむかえ、いよいよ新年を迎える準備が始まっています。各家庭においても同様の準備に入ることと思います。家族として、また地域の一員としての「自覚」や「責任感」を育てるためにもぜひこの機会に子供たちに家庭内の「できること」をやらせていただければと思います。

本校も4月からこの9ヶ月間、入学式に始まり、生徒たちの心が磨かれた、体育祭や文化発表会。思い出を残した修学旅行や移動教室、普段の授業の成果が図られた各定期検査や学力調査。夏季休業中のプール教室や補充学習教室。多くの地域行事へのボランティア参加。そして、八中の70歳の誕生日、70周年式典への参加など、様々な活動、行事に対して、生徒たちはその一つ一つの目的をしっかりと理解し積極的に取り組んでいました。八中生の素晴らしさを再確認し改めて感じさせられました。

さて今、八中では改めて「挨拶」についての取り組みを行っています。生徒会を中心に、朝礼などを利用し、なぜ「挨拶」は大切なのか訴えています。また私も先日その場で生徒たちに、「挨拶」が必要とされる様々な意味を考えてもらいました。

ある本の記述の中に、「お辞儀（挨拶）は、心を届けることです。首を下げるのではなく、腰を折る。姿勢を元に戻した後、もう一度相手をしっかりと見ることが大切

です。そうすれば相手に心が届くでしょう。これを残心と言います。」という文がありました。では、「残心」とは何でしょうか。「残心」とは、一般的には武道に使われる言葉です。広辞苑には、「剣道で激突した後、相手の攻撃に備える心の構え。弓道では、矢を射放した後の反応に応える構え」とあります。

一方、茶道では、「客が立ち去った後、主はもう一度茶を点て、一期一会をかみしめることを表す」と言われています。「残心」とは、次に備える構えであるとともに、行動後の余韻を確かめる余剰でもあるということだろうと思われます。

この「残心」はまさしく、この時期にふさわしい言葉であると考えます。この1年間の学校生活や家庭生活を振り返り、もう一度自分を見つめなおす。そして新たな心と希望をもち新年を迎えることができれば、これまで以上に自らを向上させる力になると考えます。生徒たちには「挨拶＝残心」をぜひ心がけさせていければと思います。

第八中に学ぶ生徒たちもいつかは鷺宮・若宮地区を支える一人となります。その子供たちが将来、地域を信頼し、安心して住むことができる自分たちの街をしっかりと受け継げるような「心の教育」を今後も学校で採り入れていければと考えております。

年を越し、寒さがますます厳しくなっています。保護者、地域の皆様方には、ご自愛いただければと思います。また、来年も第八中学校へのご支援を宜しくお願いいたします。来年は「戌年」。よいお年をお迎えください。

## 平成29年度オリンピック・パラリンピック教育推進講話 スペシャリストから学ぶ

### スペシャリストはお二人とも

#### 道を見つけた人でした。

今年度もオリンピック・パラリンピック教育推進をねらいとして各界のスペシャリストをお迎えしての講話を企画しました。今回もお二人の講師を本校にお招きすることができました。

お一人目はブータンをテーマにした写真家としてご活躍の関 健作さん。中野区の「先輩に学ぶライフデザイン応援事業」を活用させていただき、去る10月19日にとご来校いただくことが実現しました。



民族衣装を身に付けての講話の様子



関さんの演題は「ブータンの写真を通して伝えたいこと」。ブータンの魅力を目の覚めるような彩をもった自然豊かな田園風景や屈託のない笑顔があふれた人々の日常の光景が映し出された写真を通してお話してくださいました。九州とほぼ同じくらいの国土に暮らす約70万人の国民が、経済的な豊かさというよりは仏教文化や伝統的価値観、自然環境の保持を大切にしながら幸福を追求していこうとしている。日本とは大きく異なったブータン人のその生き方や暮らしぶりに生徒たちは聞き入っている様子でした。関さんはまた、ご自分がどうやってブータンに魅せられていったのか、ご自分の経歴や生き方に触れながらお話してくださいました。

きっと生徒たちはこれから将来への自分の生き方と重ね合わせながら聞いてくれたことでしょう。

#### 生徒の感想文から

ブータンという国は良い国だなと改めて思った。けっして財政が豊かわけではないけれど、便利なものを欲しがるだけでなく、あるものを工夫して使い無駄なく最後まで使い切るところは学ばなければならない。

#### 生徒の感想文から

隣村まで行くのに歩いて5時間かかるとは驚いた。病院や施設が充実している日本は改めてありがたい国だなと思った。しかし、便利で発展していることが幸せの基準ではなく、家族や人のために考えられることが本当の幸せなのかもしれないと思った。

#### 生徒の感想文から

関さんの生き方に共感しました。未来のことは分からないけれど、ちょっとしたことで人生が変わったり、いくらやっても成功しなかったりするところがあると思う。でも関さんのように自分と他人との違いを楽しみ、いつでも自分は自分でいられること。そして時がきたら、やりたいことを実行に移せるよう自分を高めていきたい。

#### 生徒の感想文から

チャレンジすることは良い結果になるか悪い結果になるかわからない。けれど、そのこと自体が自分の人生に活かせることなのだとお話を聞いて思いました。私もいろいろなことにチャレンジしてみようと思います。



スペシャリストから学ぶ講話の講師のお二人目はピアニストの島筒 英夫さん。ドラマの主題歌にもなった「さよならぼくたちの幼稚園」という曲の作曲もなさった作曲家でもあり、現在も様々な曲を作曲され、ピアノの弾き語りコンサートなどでもご活躍です。しかし、島筒さんは2歳のときに病気で失明され、盲目という苦難の中でピアノと出会い、プロのピアニストになられた方でした。

12月9日（土曜日）、島筒さんは生徒二人の腕を取り、ゆっくりと会場の体育館に入場されました。

島筒さんの演題は「生きることの素晴らしさ ～ピアノで楽しくコミュニケーション～」。

ステージ上のピアノの前にお座りになり、「さよならぼくたちの幼稚園」を伴奏し歌って下さいました。鍵盤の上を両手が流れるように動き、素敵な和音が体育館に響きました。目が全く見えなくてどうしてあのように弾けてしまえるのだろうという驚きと、心の琴線に触れるような旋律に生徒たちは感動しているようでした。

島筒さんは、目が見えなくなってしまったという自分自身の「逆境」を「宝物」に変えてきたとお話されています。



講話後の生徒からの謝辞の様子



「この逆境がなかったらピアニストになっていなかったかも知れない」ともおっしゃっていました。視界を失ってしまうほどの逆境を簡単に想像できるものではありませんが、生徒たちは自分自身のそれぞれの「逆境」を振り返りながら、それを克服して前向きに生きることへの勇気をもらえたものと思います。「もしも世界が100人の村だったら」というダグラス・ラミスさんの有名な絵本の詩に自作の曲をつけた弾き語り演奏、ショパンの「英雄ポロネーズ」の演奏を最後に聴かせていただき、講話が終わりました。

生徒の感想文から

私はピアノを習っていたりテニスをやっていますが、うまくいかないことがあると、自分には向いていないなと思うことがあります。しかし、島筒さんの話を聞いて、失明しているのにここまで前向きにできるなんて、自分がなさけなく思いました。私はどこも悪いところもなく、努力すればできるんだと前向きに生きていきたいなと思いました。

生徒の感想文から

逆境が宝物へとつながる、という言葉聞いて泣きそうになりました。そして「もしも世界が100人の村だったら」を聴いて心の中で号泣していました。お話を聞いてとても心が軽くなったような気がします。どんなときでも大丈夫。無駄なことなんて何一つないんだと思えました。

生徒の感想文から

確かに人生は逆境だらけで大変だと思う。でもそれを越えてこそ宝物に出会えると思う。今は前だけを見て進んでいきたい。今、目の前にある宝物も大切にしながら、多くの物事を大事にしたい。そんな心の広い人になりたいと思った。

## フラッグフットボール出場

12月2日（土曜日）午前9時。妙正寺川公園を会場に中野区中学校フラッグフットボール大会が開催されました。本校からは男子1チーム、女子2チームの計3チームが出場しました。それぞれ「エイト・ホーネッツ」「エイト・ハニービーズ」「エイト・ハニービーズ6」というチーム名をつけブロックごとで他校と対戦しました。女子チームは予選を勝ち抜き決勝トーナメントへと進みました。3年女子生徒で組んだエイト・ハニービーズ6はなんと優勝することができました。ゲームのルールも熟知し、頭脳プレーによる素晴らしい勝ち方でした。

やったね！3年女子チーム優勝！



開会式の様子



## 中学生意見発表会

12月2日（土曜日）中野区非行を生まない社会づくり連絡会主催の第30回中学生意見発表会が中野サンプラザのスカイルームを会場に行われました。今年度の八中代表は3年福永陽介くん。演題は「ADHDについて」。区内国公私立の中学生16名が集まった中、立派に意見発表をしてくれました。



**表 彰**  
中野区中学校ソフトテニス秋季新人大会  
女子ソフトテニス 準優勝

## 1月 予定

1月 7日（日） 冬季休業終了  
1月 9日（火） 登校開始 全校集会  
1月13日（土） 土曜公開日  
2年移動教室説明会  
ダンス発表会（体育館）②③

1月19日（金）1年社会科見学  
1月30日（火）  
中野区教育力向上事業研究指定校  
東京都道德教育推進拠点校  
2年次研究発表会 授業公開13：35－  
研究発表会14：50－  
講演：東京学芸大学 永田 繁雄 先生